

令和四年度 高学部・職業（窯業）年間指導計画

教科・領域名		職業(窯業班)	学年	1～3年	
作成責任者			教育課程・類型	Ⅱ課程・A類型	
教科観の点別標	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陶土や釉薬の扱い方及び陶器作り関わる知識について理解を深めることができる。(高1段階)</li> <li>・作業の確実性や持続性、巧緻性を高め、状況に応じた作業をすることができる。(高1段階)</li> </ul>			
	思考力 判断力 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業手順を理解し、安全かつ効率よく作業ができるよう工夫し作業に取り組むことができる。(高1段階)</li> <li>・自分の役割を自覚し、自らの成長や課題について評価・改善する意識を養うことができる。(高1段階)</li> <li>・将来の職業生活を踏まえ、作業内容の特性を考えつつ自ら体調の管理ができる。(高1段階)</li> </ul>			
	学びに向かう力 人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者と協調して効率よく作業をし、必要に応じて相談したり、助言を得たりして課題を解決することができる。(高1段階)</li> <li>・自らの働きかけにより地域社会に貢献できる喜びを体得し、働くことへの意欲を持つことができる。(高1段階)</li> </ul>			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	96	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業開き</li> <li>・職業について</li> <li>・勤労と協働</li> <li>・粘土作り</li> <li>・陶器作り(皿類)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の授業内容を聞き理解し見通しを持つことができる。(思考力)(高1段階)</li> <li>・働くために必要なこと、職業の心得を理解することができる。(学びに向かう力・人間性)(高1段階)</li> <li>・仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る。(人間性)(高1段階)</li> <li>・粘土の特性を理解し、粘土の再生方法がわかる。皿などの成型工程を知り、手順を確認しながら作業を進めることができる。(知識及び技能)(高1段階)</li> <li>・使用する機械の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ。(思考・知識・技能)(高1段階)</li> <li>・学期を振り返り自己の反省点を発表する。(思考・表現)(高1段階)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年間の流れを聞き、各自の目標を立て発表を行う。</li> <li>・身なりや時間を守ることの大切さ等9つある職業の目標を知り理解する。</li> <li>・仕事の意義を理解し作業を通じ協働作業の大切さを学ぶ。</li> <li>・粘土の再生作業、陶器の成型作業(すいひ作業・土練り・成型・焼成)</li> <li>・土練機や攪拌機、グラインダーなど機械の種類と使用方法を知り、実際に使用してその危険性と安全な使用方法を学ぶ。</li> <li>・1学期を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期のまとめ</li> </ul>		
二学期	9月 ～ 12月	112	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘土作り</li> <li>・陶器作り(皿、椀、コースターなど)</li> <li>・陶器作り(注文商品、コラボ商品)</li> <li>・各行事に向けた陶器作り</li> <li>・用具の手入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な陶器の陶製方法を知り、手順に沿って作業を行う。釉薬について理解し、丁寧に作業を進めることができる。(知識及び技能)(高1段階)</li> <li>・責任持ち受注を受けた商品の納期を考えつつ完成度の高い陶製品を作る。(思考・判断・技能)(高1段階)</li> <li>・各行事の意義を理解し、客が購入したいと思う商品を考える。丁寧な作業を行い完成度の高い陶製品を作る。(知識及び技能)(高1段階)</li> <li>・日頃使用している道具や機械類の手入れを行い整理整頓することができる。(人間性)(高1段階)</li> <li>・学期を振り返り自己の反省点を発表する。(思考・表現)(高1段階)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘土の再生作業、陶器の成型作業(すいひ作業・土練り・成型・釉薬かけ、焼成)</li> <li>・商品作り(各種コラボ商品、注文商品)</li> <li>・陶製品作り(みさき市や学習発表会の販売学習に向けた陶製品作り)</li> <li>・日頃使用している道具の手入れなどを行う。</li> <li>・2学期を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期のまとめ</li> </ul>		
三学期	1月 ～ 3月	72	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売学習にむけて</li> <li>・陶器作り(卒業記念品)</li> <li>・用具の手入れ、作業場の清掃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ(知識・思考力・判断力)(高1段階)</li> <li>・習得した知識や技能を活用し、行事の意義を理解し、相手が喜ぶ陶製品を作る。(知識及び技能)(高1段階)</li> <li>・日頃使用している用具の手入れ、作業場の整理整頓、清掃を行うことができる。(人間性)(高1段階)</li> <li>・学期を振り返り自己の反省点を発表する(思考・表現)(高1段階)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接客用語の練習、電卓やレジスターを使用した計算練習を行う。</li> <li>・陶製品作り(卒業記念品のお皿作り)</li> <li>・様々な道具や機械類の手入れ整理整頓を行い、作業場の清掃、整備を行う。</li> <li>・年間を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間のまとめ</li> </ul>		
年間授業時数		( 280 )時間			

令和四年 高等部・職業(木工班)年間指導計画

教科・領域名		職業(木工班)	学年	1. 2. 3年	
作成責任者			教育課程・類型	II 課程・A類型	
教科観の点目別標	知識及び技能	・職業生活に必要な知識及び技能を身に付ける。(高1段階)			
	思考力 判断力 表現力等	・将来の職業生活における自己の目標や課題と向き合い、自ら工夫し改善する力を養う。(高1段階)			
	学びに向かう力 人間性等	・将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて主体的実践的な態度を養う。(高1段階)			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 7月	96	・勤労の意義	・(知及技/思判表力/学・人)勤労に対する意欲や関心を高め他者と協働して主体的に取り組む事ができる。(高1段階)	・動画教材などから具体例を学び、働くことの目的を理解する。
			・情報機器の活用	・(知及技/思判表力)コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知る。(高1段階)	・コンピュータやタブレットを使って情報をまとめて他者に伝える。
			・技能検定	・(知及技)技能検定の手順を学ぶことで使用する道具の適切な扱い方がわかる。(高1段階)	・数種の検定から自ら選定し、繰り返しの練習から道具の扱い方を学ぶ。
			・職業について	・(学・人)自己理解、働くこと、社会人のマナー・ルール、コミュニケーションについて学び、生活に活かそうとする。また、様々な職種について学び、仕事に必要な力ややりがいについて考えることができる。(高1段階)	・実践的な校内外の実習を体験する。 ・NHKforSchool動画教材の視聴やワークシートに考えをまとめる。また、テーマについて、グループ討議を通して、仕事についての考えを深め、就労に対する意欲を高める。
			・作業の安全と製作	・(学・人/思判表力/知及技)木工具を安全に使用でき、作業手順・工程を理解し、仲間と協働し、作業に集中して取り組むことができる。(高1段階)	・工具・機械の正しい扱い方、作業手順や工程を知り効率よく作業をすることが重要であることを理解し、協働作業を通じてコミュニケーションの大切さを学ぶ。
			・1学期のまとめ	・(思考・表現)1学期を振り返り自己の成長や課題点を発表することができる。(高1段階)	・1学期を振り返り自己の成長や課題点をまとめ、みんなの前で発表を行う。
二学期	9月 12月	112	・情報機器の活用	・(知及技/思判表力/学・人)学習の記録や成果を発表するために情報機器を適切に扱い自分の考えを表現することができる。(高1段階)	・表記・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。
			・技能検定	・(知及技)技能検定で学んだことを学校生活や家庭生活で生かすことができる。(高1段階)	・繰り返しの練習から道具の扱い方を身につけ、学校生活や家庭生活で生かしていく。
			・職業生活	・(知及技/思判表力/学・人)自立した生活、社会人のマナーやルール、コミュニケーションについて学び、生活に活かそうとする。また、様々な職種について学び、卒業後の進路について関心を持つことができる。(高1段階)	・実践的な校内外の実習を体験する。 ・動画教材の視聴やワークシートに考えをまとめる。また、テーマについて、グループ討議をし、仕事についての考えを深め、就労に対する具体的なイメージを持つ。
			・効率化と協働する力	・(学・人)製作の効率化について考え、工程に沿って主体的に作業に取り組むことができる。木工製品の治具の選択や仲間と連携することの大切さが分かる。(高1段階)	・作業手順や工程を自ら確認しながら、治具についても自主的に活用し効率よく作業をすること。よく協働してコミュニケーション力を高めること。
			・2学期のまとめ	・(思判表力)2学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。(高1段階)	・2学期を振り返り自己の成長や課題点を書きみんなの前で発表を行う。
三学期	1月 3月	72	・情報機器の活用	・(知及技/思判表力/学・人)IT機器を活用して販売会のチラシ作成や売上票をまとめることができる。(高1段階)	・表記・計算・通信等のソフトを使い、実践する。
			・技能検定	・(知及技)技能検定を受験し、目標の級位を取得することができる。(高1段階)	・繰り返しの練習から道具の扱い方を習得し、検定を取得する。
			・職業生活	・(知及技/思判表力/学・人)余暇活動や将来設計について学び、生活に活かそうとする。また、様々な職種について学び、卒業後の進路について具体的に考えることができる。(高1段階)	・実践的な校内外の実習を体験する。 ・動画教材の視聴やワークシートに考えをまとめる。また、テーマについて、グループ討議をし、仕事についての考えを深め、就労に対する具体的なイメージを持つ。
			・効率化と課題解決する力	・(学・人)製作の効率化について考え、PDCAサイクルを通して協働して課題解決ができる。(高1段階)	・作業の効率化について討議し、主体的に課題解決を図り、協働することやコミュニケーションの大切さを学ぶ。
			・販売学習	・(思判表力)日頃の成果を確認し、販売会に向けての意識を高める。(高1段階)	・作品の仕上げ、会場準備、接客・呼び込みの練習を行う
			・年間のまとめ	・(思判表力)1年間を振り返り自己の成長や課題点を発表する。(高1段階)	・1年間を振り返り自己の成長や課題点を書きみんなの前で発表を行う。
年間授業時数			( 280 ) 時間		

令和四年 高等部( 職業農業班 ) 年間指導計画

教科・領域名		職業(農業班)	学年	1～3年	
作成責任者			教育課程・類型	II 課程A類型	
教科 観 の 点 目 別 標	知識及び技能	・草花や野菜の扱い方及び栽培に関わる知識について理解を深めること。 ・作業の持続性、巧緻性を高める。(高I段階)			
	思考力 判断力 表現力等	・作業手順を理解し、必要な用具を適切に使用し、作業に取り組むことができる。 ・作業や実習において、自分の成長や課題について改善する意識を養う。(高I段階)			
	学びに向かう力 人間性等	・作業上の安全や作業の効率について考え、社会や他者との協働する意識を育てると共に貢献する喜びを体得する。(高I段階)			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一 学 期	5 月 ～ 8 月	72	・授業開き	・年間の授業内容を聞き理解し見通しを持つことができる(思考力)(高I段階)	・一年間の流れを聞き、各自の目標を立て発表を行う。
			・職業について	・作業学習の心得を理解する(学びに向かう力・人間性)(高I段階)	・身なりや時間を守ることの大切さ等9つある作業学習の目標を知り理解する。
			・勤労と協働	・仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る(人間性)(高I段階)	・仕事の意義を理解し作業を通じ協働作業の大切さを学ぶ。
			・季節の野菜・草花の栽培	・季節の野菜や草花を知りその栽培を行う(知識及び技能)(高I段階)	・季節の野菜や草花栽培(播種・鉢上げ・定植・収穫)
			・農機具の安全な取り扱いについて	・農機具の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ(思考・知識・技能)(高I段階)	・農機具の種類を知り、その危険性と安全な使用方法を学ぶ。
			・1学期のまとめ	・学期を振り返り自己の反省点を発表する(思考・表現)(高I段階)	・1学期を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。
二 学 期	9 月 ～ 12 月	84	・季節の野菜・草花の栽培	・季節の野菜や草花を知りその栽培を行う(知識及び技能)(高I段階)	・季節の野菜や草花栽培(播種・鉢上げ・定植・収穫)
			・収穫と調整	・野菜の収穫調整袋詰めを行うことができる(思考・判断・技能)(高I段階)	・収穫した野菜を規定量に計量し袋詰めを行う。
			・各行事に向けた草花・野菜栽培	・各行事の意義を理解し野菜や草花の特性を学びを取り入れた栽培を行う(知識及び技能)(高I段階)	・美咲市や学習発表会、卒業式をイメージし野菜や草花の栽培を行う。
			・農機具の手入れ	・日頃使用している農機具を丁寧に洗って手入れを行うことができる。(人間性)(高I段階)	・ヘラ、スコップ、ハサミ、畝立て機など日頃使用している道具の洗浄を行う。
			・2学期のまとめ	・学期を振り返り自己の反省点を発表する(思考・表現)(高I段階)	・2学期を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。
三 学 期	1 月 ～ 3 月	54	・販売学習にむけて	・接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ(知識・思考力・判断力)(高I段階)	・接客用語など言葉使いの練習、金銭の計算など電卓を使用した計算練習を行う。
			・次年度の準備	・次年度栽培する作物の播種・畑の整備を通して職業として準備することの重要性に気付く。(人間性)(高I段階)	・野菜や草花の播種や鉢上げ、耕うんや畝立てなど次年度の準備に取り組む。
			・1年間のまとめ	・学期を振り返り自己の反省点を発表する(思考・表現)(高I段階)	・1年間で振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。
年間授業時数			( 210 ) 時間		

令和四年 高等部・職業(家庭班)年間指導計画

教科・領域名		職業(家庭班)	学年	1～3年	
作成責任者			教育課程・類型	Ⅱ課程・A類型	
教科観の点別標	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業生活に必要な知識及び技能を身に付ける。</li> <li>・使用する道具の適切な扱い方を身に付け、作業の持続性、巧緻性を高める。(高1段階)</li> </ul>			
	思考力判断力表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の職業生活における自己の目標や課題と向き合い、自ら工夫し改善する力を養う。</li> <li>・作業手順、適切な道具の使用方法を理解し、自ら作品を作る力を身につける。(高1段階)</li> </ul>			
	学びに向かう力人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて主体的実践的な態度を養う。</li> <li>・挨拶、報告、連絡、相談が自ら行える力を身につける。(高1段階)</li> </ul>			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	96	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労の意義</li> <li>・情報機器の活用</li> <li>・布製品作り</li> <li>・お菓子調理</li> <li>・買い物学習</li> <li>・学習の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【学人】勤労に対する意欲や関心を高める。(高1段階職:勤労の意義)</li> <li>【知技】情報セキュリティ及び情報モラルについて理解し情報機器を扱うことができる。(高1段階:情報機器の活用ア)</li> <li>【知技】実習で使用する道具の名称や使い方を理解し、安全な取り扱いを行い作業の持続性、巧緻性を高める。(高1段階:職業(ア)㊸㊹)</li> <li>【思判表】品物の選別、予算を意識した買い物ができる。(高1段階:職業(イ)㊺)</li> <li>【思判表】日々の振り返り、単元、学期の振り返りで自己の到達度や反省点を表現できる。(高1段階:職業(イ)㊻)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く意義や将来の目標を考える。</li> <li>・就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。</li> <li>・コンピュータや携帯の便利さと危うさを実例で学び表記・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。</li> <li>・繰り返しの練習から道具の扱いについて学ぶ。</li> <li>・基礎縫い、刺繍、型取り、裁断、ミシン縫い、アイロン等を用いた布製品作り</li> <li>・衛生管理の必要性。清潔を保つ方法を理解することができる。</li> <li>・買い物学習</li> <li>・日々の振り返り、自己の反省点や次の目標の確認。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内・現場実習に関すること</li> <li>・布製品作り</li> <li>・菓子調理</li> <li>・買い物学習</li> <li>・学習の振り返り</li> <li>・情報機器の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【思判表】実習での成果と課題や解決策を考えて発表することができる。(高1段階:産業現場などにおける実習イ)</li> <li>【思判表】意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割を意識し、他者と協力することができる。(高1段階:勤労の意義(イ))</li> <li>【思判表】目的に応じた品物の選別、予算を意識した買い物ができる(高1段階:職業生活イ(ア)㊼)</li> <li>【思判表】日々の振り返り、単元、学期の振り返りで自己の到達度や反省点を表現できる。(高1段階:職業(イ)㊼)</li> <li>【思判表】情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータなどの情報機器を扱い、収集した情報をまとめ発表することができる。(高1段階:情報機器の活用イ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的な校内外の実習を体験し、成果や課題について考える。</li> <li>・基礎縫い、刺繍、型取り、裁断、ミシン縫い、アイロン等を行った布製品作り</li> <li>・菓子の調理</li> <li>・道具の適切な使用方法</li> <li>・衛生管理の必要性。清潔を保つ方法。</li> <li>・買い物学習</li> <li>・日々の振り返り、自己の反省点の確認。就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。</li> <li>・コンピュータの表記・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い、販売商品のチラシを作成する。</li> </ul>
三学期	1月 ～ 3月	72	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布製品作り</li> <li>・販売学習準備</li> <li>・買い物学習</li> <li>・学習の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【学・人】作業や実習などに達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階:職業生活ア(ウ))</li> <li>【思判表】作業場の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図る事ができる。(高1段階:職業(イ)㊽)</li> <li>【知技】販売学習を通して職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身につけること。(高1段階:職業(ア)㊽)</li> <li>【思判表】品物の選別、予算を意識した買い物ができる。(高1段階:職業(イ)㊾)</li> <li>【思判表】日々の振り返り、単元、学期の振り返りで自己の到達度や反省点を表現できる。(高1段階:職業(イ)㊿)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎縫い、刺繍、型取り、裁断、ミシン縫い、アイロン等を行った布製品作り</li> <li>・道具の適切な使用方法</li> <li>・適切な接客態度、実践について</li> <li>・買い物学習</li> <li>・日々の振り返り、自己の反省点の確認。就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。</li> </ul>
			年間授業時数	( 280 )時間	

令和 四年 高学部 職業(トータルサービス班) 年間指導計画

教科・領域名		職業(トータル班)	学年	1～3年	
作成責任者			教育課程・類型	II 課程A類型	
教科観の点目別標	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活向上のための事柄について理解を深めること。</li> <li>将来の職業生活に係る実践的な技能を身に付けるようにすること。(高1段階)</li> </ul>			
	思考力 判断力 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見出して自ら課題を設定し、解決策を考えること。</li> <li>自己や他者の評価を通して、実践を省みて改善すること。(高1段階)</li> </ul>			
	学びに向かう力 人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい社会生活を送るために協働する意識を高め、社会や他者のために貢献する喜びを体得すること。</li> <li>挨拶、報告、連絡、相談が行える力を身につける(高1段階)</li> </ul>			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一 学 期	4 月 7 月	72	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業班開き</li> <li>職業について</li> <li>情報機器の活用</li> <li>作業に必要な道具の安全な取り扱いについて</li> <li>洗車作業</li> <li>校内外美化作業について</li> <li>校内・現場実習に関すること</li> <li>1学期のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業の心得や働くうえでの決まりを理解する(学びに向かう力人間性等)(高1段階: 勤労の意義)</li> <li>作業道具等の安全な取り扱いについて学び、適切に使用する。(知識・技能)(高1段階: 職業(ア㊸))</li> <li>情報モラルについて理解し情報機器を扱うことができる(知識及び技能)(高1段階: 情報機器の活用ア)</li> <li>作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。(知識及び技能)(学びに向かう人間性)(高1段階ア㊹)</li> <li>作業場所や内容にあった手順と必要な道具を考える(知識及び技能)(高1段階イ㊸)</li> <li>実習での成果と課題を考えて発表することができる。(思考力、発表力)(高1段階産業現場などにおける実習イ)</li> <li>学期を振り返り自己の反省点を発表する(思考力・判断力・表現力)(高1段階イ㊹)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の授業計画を確認し、1学期の個人目標を立てることで見直しをもつ。</li> <li>「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ることなど職業の目標が社会人の基礎であることを理解する。</li> <li>作業道具の名前(熊手、剪定はさみ、カマ、草刈り機、掃除機、ホース、ブローア)を知り安全な使い方を学習する。</li> <li>洗車作業(車体洗浄、ワックスがけ、タイヤ洗浄)</li> <li>車内清掃(窓拭き、掃除機がけ)</li> <li>校内外美化作業(除草、剪定、室内清掃など)を通して、作業手順を知る。</li> <li>1学期の振り返りを行うことで次への目標と見直しをもつ。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期の目標設定</li> <li>校内外美化活動</li> <li>洗車作業</li> <li>技能検定への取り組み</li> <li>2学期のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期に達成したい自己目標を立てる事ができる。(学びに向かう力人間性等)(高1段階ア働くことの意義(イ))</li> <li>作業道具等の安全な取り扱いについて学び、適切に使用する。(知識・技能)(高1段階: 職業(ア)㊸㊹)</li> <li>技能検定への練習を通して、働く上での基本的なマナーとチャレンジする心を養う。(学びに向かう人間性・知識・技能)(高1段階: 職業(イ)㊹)</li> <li>学期を振り返り自己の反省点を発表する(思考・表現)(高1段階: 職業(イ)㊹)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期の授業計画を確認し、個人目標を立てることで見直しをもつ。</li> <li>サンダンカの選定、校舎内の清掃、分担区の清掃</li> <li>洗車作業(車体の洗浄、ワックスがけ、窓拭き、掃除機がけなど)</li> <li>自在ほうき、モップかけ、テーブル拭き、喫茶サービスの基本的な動作を理解する。</li> <li>2学期を振り返り自己の反省点を書き振り返りを行う。(発表等)</li> </ul>
三 学 期	1 月 3 月	54	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期を振り返り2学期に達成したい目標を設定することができる(学びに向かう人間性等)</li> <li>洗車作業</li> <li>校内外美化活動</li> <li>技能検定への取り組み</li> <li>みさき市に向けて</li> <li>3学期のまとめ及び1年間のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3学期に達成したい自己目標を立てる事ができる。(学びに向かう力人間性等)(高1段階ア働くことの意義(イ))</li> <li>必要な道具を自ら判断し、作業に取り組む姿勢を身につける。(思考・判断力・表現力)(高1段階: 職業(ア)㊸㊹)</li> <li>技能検定への練習を通して、働く上での基本的なマナーとチャレンジする心を養う。(学びに向かう人間性・知識・技能)(高1段階(イ)㊹)</li> <li>販売学習を通して職業生活に必要な実践的な知識技能を身につける(知識及び技能)(高1段階: 職業(ア)㊹)</li> <li>学期を振り返り自己の反省点を発表する(思考・表現)(高1段階: 職業(イ)㊹)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3学期のスケジュールを確認し個人目標を立てる事で見直しをもつ。</li> <li>洗車作業(車体の洗浄、ワックスがけ、窓拭き、掃除機がけなど)</li> <li>サンダンカの選定、校舎内の清掃、分担区の清掃</li> <li>自在ほうき、モップかけ、テーブル拭き、基本的な動作を理解する。</li> <li>洗車業務と小物販売に向けて、準備を行う(ポップ作りなど)。</li> <li>販売学習(保護者の車の洗車を通して接客のマナーや料金のやり取りを実践する)</li> <li>年間を振り返り自己の反省点を書き振り返りを行う。(発表)</li> </ul>
			年間授業時数	210	

令和四年 高等部・職業(チャレンジ班)年間指導計画

教科・領域名		職業(チャレンジ班)	学年	1～3年	
作成責任者			教育課程・類型	Ⅱ課程・B類型	
教科観の点別標	知識及び技能	・職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を体験し、身に付けることができる(高1段階)			
	思考力 判断力 表現力等	・意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。(高1段階)			
	学びに向かう力 人間性等	・作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考えることができる。 ・職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。(高1段階)			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 7月	40	・勤労の意義 ・情報機器の活用 ・作業内容 ミーティング 野菜の栽培 木製の小物作り アクセサリー作り 紙製の雑貨作り 洗濯や清掃 余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策	(知及技)(思判表力)(学・人) ・意欲や見通しを持って取り組み、自分の役割について気付くことができる。(高1段階)  (知及技)(思判表力) ・コンピュータやタブレット等の情報機器を扱い自分の知りたい情報を調べることができる。(高1段階)  (知及技)(思判表力) ・道具を安全に使う農作業や木工作业、紙工芸等の作業ができる。作業内容や手順を理解して見通しを持って取り組むことができる。(高1段階)  (思判表力)(学・人) ・作業を行う上での体力を向上させ、他者との関係や協力について体験することができる。(高1段階)	・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。  ・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や学習のまとめ、発表などを行う。  ・季節の野菜の栽培。木や紙、布などを使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付けを行う。  ・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。
			・勤労の意義 情報機器の活用 ・作業内容 ミーティング 野菜の栽培 木製の小物作り アクセサリー作り 紙製の雑貨作り 洗濯や清掃 余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策	(知及技)(思判表力)(学・人) ・意欲や見通しを持って取り組み、自分の役割について気付くことができる。(高1段階)  (知及技)(思判表力) ・コンピュータやタブレット等の情報機器を扱い自分の知りたい情報を調べることができる。(高1段階)  (知及技)(思判表力) ・道具を安全に使う農作業や木工作业、紙工芸等の作業ができる。作業内容や手順を理解して見通しを持って取り組むことができる。(高1段階)  (思判表力)(学・人) ・作業を行う上での体力を向上させ、他者との関係や協力について体験することができる。(高1段階)	・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。  ・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や学習のまとめ、発表などを行う。  ・季節の野菜の栽培。木や紙、布などを使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付けを行う。  ・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。
二学期	9月 12月	50	・勤労の意義 ・情報機器の活用 ・作業内容 ミーティング 野菜の栽培 木製の小物作り アクセサリー作り 紙製の雑貨作り 洗濯や清掃 余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策	(知及技)(思判表力)(学・人) ・意欲や見通しを持って取り組み、自分の役割について気付くことができる。(高1段階)  (知及技)(思判表力) ・コンピュータやタブレット等の情報機器を扱い自分の知りたい情報を調べることができる。(高1段階)  (知及技)(思判表力) ・道具を安全に使う農作業や木工作业、紙工芸等の作業ができる。作業内容や手順を理解して見通しを持って取り組むことができる。(高1段階)  (思判表力)(学・人) ・作業を行う上での体力を向上させ、他者との関係や協力について体験することができる。(高1段階)	・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。  ・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や学習のまとめ、発表などを行う。  ・季節の野菜の栽培。木や紙、布などを使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付けを行う。  ・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。
			・勤労の意義 ・情報機器の活用 ・作業内容 ミーティング 野菜の栽培 木製の小物作り アクセサリー作り 紙製の雑貨作り 洗濯や清掃 余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策	(知及技)(思判表力)(学・人) ・意欲や見通しを持って取り組み、自分の役割について気付くことができる。(高1段階)  (知及技)(思判表力) ・コンピュータやタブレット等の情報機器を扱い自分の知りたい情報を調べることができる。(高1段階)  (知及技)(思判表力) ・道具を安全に使う農作業や木工作业、紙工芸等の作業ができる。作業内容や手順を理解して見通しを持って取り組むことができる。(高1段階)  (思判表力)(学・人) ・作業を行う上での体力を向上させ、他者との関係や協力について体験することができる。(高1段階)	・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。  ・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や学習のまとめ、発表などを行う。  ・季節の野菜の栽培。木や紙、布などを使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付けを行う。  ・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。
三学期	1月 3月	20	・勤労の意義 ・情報機器の活用 ・作業内容 ミーティング 野菜の栽培 木製の小物作り アクセサリー作り 紙製の雑貨作り 洗濯や清掃 余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策	(知及技)(思判表力)(学・人) ・意欲や見通しを持って取り組み、自分の役割について気付くことができる。(高1段階)  (知及技)(思判表力) ・コンピュータやタブレット等の情報機器を扱い自分の知りたい情報を調べることができる。(高1段階)  (知及技)(思判表力) ・道具を安全に使う農作業や木工作业、紙工芸等の作業ができる。作業内容や手順を理解して見通しを持って取り組むことができる。(高1段階)  (思判表力)(学・人) ・作業を行う上での体力を向上させ、他者との関係や協力について体験することができる。(高1段階)	・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。  ・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や学習のまとめ、発表などを行う。  ・季節の野菜の栽培。木や紙、布などを使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付けを行う。  ・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。
			・勤労の意義 ・情報機器の活用 ・作業内容 ミーティング 野菜の栽培 木製の小物作り アクセサリー作り 紙製の雑貨作り 洗濯や清掃 余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策	(知及技)(思判表力)(学・人) ・意欲や見通しを持って取り組み、自分の役割について気付くことができる。(高1段階)  (知及技)(思判表力) ・コンピュータやタブレット等の情報機器を扱い自分の知りたい情報を調べることができる。(高1段階)  (知及技)(思判表力) ・道具を安全に使う農作業や木工作业、紙工芸等の作業ができる。作業内容や手順を理解して見通しを持って取り組むことができる。(高1段階)  (思判表力)(学・人) ・作業を行う上での体力を向上させ、他者との関係や協力について体験することができる。(高1段階)	・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。  ・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や学習のまとめ、発表などを行う。  ・季節の野菜の栽培。木や紙、布などを使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付けを行う。  ・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。
年間授業時数			( 210 )時間		